

その他の卸売業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9~10	第二卸売場で荷受作業中、年配の生産者のためにパレットを取ろうとして持ち上げた際、手を滑らせてパレットを右足に落としてしまい、右第1・2趾末節骨を骨折した。	21	300~499
1	16~17	木工作业場において、木製パレット（ブリキ板を載せる台）を作成する際、従来は固定式電動のこぎりで、木の棒の切断を行うところを、棒を組んでパレットに仕上げた後に寸法の間違いに気付き、終業時間も近いことから、作業時間の短縮を図ろうと、作業員の自主判断で、従来の作業では使用しないハンディタイプの電動のこぎりを用いて、組んだ状態のまま寸法調整しようとしたところ、回転刃と木材がうまくかみあわず、反動でのこぎりがはね上がり、左手首を損傷してしまった。	68	—
2	10~11	100枚包装されたチラシをひっくり返す時にチラシが右手薬指に落ちて、靭帯損傷し指が変形し手術が必要になった。	69	—
2	11~12	倉庫でタンスの修理の為、タンスの角度を変更した際に手を滑らせてしまい、左中指の第一関節の上に落下し、指を打撲した。さらに落下時に咄嗟に手を引いた為、指の皮が捲れて出血した。	67	1~9
2	11~12	倉庫内で商品の出荷準備中、棚上段奥の商品を取り出荷用コンテナに入れていたところ、棚上段手前の商品が押し出され、ダンボールごと、作業をしている後ろ向きの後頭部に落下してきた。	35	30~49
3	14~15	家庭紙選別場にて、男性作業員Aが1箱20~30の選別品が入った書類箱5段積40箱のパレットをフォークリフトにて移動中、リフトの片輪が選別品に乗り上げてしまい荷物が崩れ、近くで選別作業をしていた作業員に大声で知らせたが、逃げ切れず	55	10~29

		右足に荷物がのしかかった。		
3	10~11	当社3Fピッキング作業場において、空オリコンの組み立て作業をピッキングカート検品台の上で実施中に、1枚目のオリコンを移動させた際に重ねていた2枚目のオリコンに引っかかり、空オリコンが左足に落下した。	45	100 ~ 299
3	8~9	スクラップヤード内にて、シャーリング作業の準備をしているとき、長方形の板材料（7枚位、約250kg）を140cm位の高さで吊り上げ、移動する際にワイヤーが切れて材料が落下し、右太ももに当たり負傷した。原因は、古いワイヤーの使用と不注意である。	44	10 ~ 29
3	9~10	本社構内で丸輪っか形状のステンレスを切断中に、輪っかが安全に切断された瞬間、切断された部分が外にはね返り、はね返った部分が被災者の足にかすり足が切れた。（プラズマ溶接にて切断中）	34	30 ~ 49
3	15~16	得意先の作業ピット内にて、本人が農機用タイヤの取付作業を手伝い空気充填作業も実施した際に、ビード勘合がうまく行かずエアゲージを確認すると500Kpaを超えていた為、エアーチャックをバルブ口から外そうとした際に、チューブが破裂し、タイヤビードがホイールより外れた。この時、タイヤに記載されている250Kpa以上充填しない旨の表示を見落とし、バルブコアの装着もしていなかった。100kg程のタイヤホイールが天井まで跳ね上がり、その際に左手人差し指と右手甲骨を骨折し、また天井に当たって天板が破損し、落下した。破片で左頬を外傷（切傷）、チューブ破裂時の爆風の衝撃で右目を負傷し視力が低下している。	45	1~ 9
4	10~11	防水槽の漏水の原因調査業務に行った被災者が、他業者が実施していた防火水槽内部の防火水を仮に貯める仮設水槽の設置作業で、敷き鉄板の揚重時にフックが外れそうになった事に気がつき、自分で直そうとフックを揺らしたところフックが外れ、敷き鉄板が被災者の方向に倒れてきて被災した。	30	1~ 9
4	16~17	倉庫内で納入されたグレーチング（550mmの正方形、厚さ2cm、重さ16.2kg）3枚（厚さ0.5mmの鉄のバンドで縛ってある）を鉄のワイヤーロープ（長さ1.5m）で吊り、天井クレーンで移動させ既に積み重ねて置いてあったグレーチング（縦700mm横1m）高さ約1mの上に置く作業をしていた時、鉄のバンドが切れて左足の甲の上に落ちてきた。	57	30 ~ 49

4	10~ 11	1階の冷蔵倉庫内で、単独で高さ2m程の荷物の上にあるパレット（約25kg、1.1 m ² ）を軍手をはめた両手で降ろそうとしたところ、誤って左足の親指に落としてしまった。	50	30 ~ 49
5	11~ 12	倉庫内3階エリアでピッキング作業中、第三者が投げた空き段ボールが破材コンベアに乗らず上から落下し、首元に当たった。	47	500 ~ 999
6	11~ 12	社内職場にて、キャスター付の台座の上に重ねて保管している空の容器を取ろうとした際に、積んでいた空き容器のバランスが崩れ、左足の上に落下し、負傷したものである。	57	100 ~ 299
6	11~ 12	工場内で、自動車部品取り外し作業中に手を滑らせ、重さ約20kg程度の部品を落としてしまい、右足甲を骨折した。	22	10 ~ 29
6	9~ 10	事業所作業所内において、椀積みする座の所に立っているL棒にリン木を立てるため、丸太（長さ約3m、直径約5cm）を抱えて、前に置いていた杉材（高さ約50 cm）の上に乗った際、バランスを崩して落下し、その場に倒れてしまい、杉（長さ4m、直径24cm）位の丸太1本が右足の膝下から足首までの間に落ちてきて負傷した。	20	10 ~ 29
7	11~12	同僚職員が倉庫内からトラックヤードにパレットラックに積んである商品を移動して床へ降ろす際、パレットラックを降ろす場所付近にいた被災者に気付かず、被災者の右足親指の上に載せてしまい、負傷させてしまった。	32	30 ~ 49
7	10~11	FRP床版の加工作業中、加工品を並べるために準備していた架台（H鋼）が右足甲の部分に倒れ骨折した。H鋼を平行に2本並べ床版の幅に合うよう調整していたが、クレーンを巻き上げる際にフックが完全に外れておらずH鋼に引っ掛かり倒れたもの。（全治2ヶ月）	61	100 ~ 299
7	16~17	本社工場内で玉葱約20kgが入っているコンテナを手で持ち運んでいる際に手を滑らせ、足の上に落とした。履いていた靴がベトナム製で生地が非常に薄く、コンテナの角で右足親指を裂傷した。	25	10 ~ 29

7	14~15	山にある会社の資材置場にて、堰の土砂片付け作業中に、倒れた鉄柵を片付けようとしていた。鉄柵が被災者の右足に20cmの高さより落ちた。	39	1~ 9
7	16~ 17	営業所内のプラットホーム付近で、上段にある商品をフォークリフトと踏み台を使わずに商品を取ったため、商品が落下し、コンテナと商品の間に手を挟まれた。	54	50 ~ 99
7	9~ 10	商品納品先の駐車場にて、納品するビール樽をトラックの荷台より降ろす際に、二段積みになっていた上部の樽を取り損ね、右足に落下し負傷した。	28	100 ~ 299
10	11~ 12	足場の解体作業中、地上で資材の荷下げ作業を行っていたところ、目に埃が入り瞬きをした際に手を滑らせ、資材が左足人差し指先に接触、負傷したもの。	22	10 ~ 29
10	9~ 10	工場内で、お客様の車から銅の板を一枚降ろして運ぶ時に、手が滑って落とし、右足の指を負傷した。	22	10 ~ 29
10	10~ 11	当社敷地内における上記派遣労働者の、商品のトラックへの積み込み作業中の被災。トラックの荷台で、商品（人参が満載された段ボールで、重さ約10kg）をトラックに積み込んでいた際、高く積んだ商品（荷台床からの高さが約130cm程）が安定が少し悪かったために倒れてきて左足首のくるぶしの辺りに商品が直撃し、その衝撃で骨折したもの。	45	30 ~ 49
11	9~ 10	同店内倉庫にて、商品配達準備作業中、配送用トラックに商品（瓶ビールケース）を積み込んでいた時、誤って足を踏み外し荷台から地面に落下し、その際に手に持っていたビール瓶が割れ、右手首を切創し受傷したものである。	46	10 ~ 29
11	10~ 11	施設内での展示会の搬入（机など会議用長机）を設置の時長机を持ち上げた時、足先の上に誤って縦に真っ直ぐ落とした。	46	50 ~ 99
11	12~	当社工場内において、納入された鉄スクラップ（約400kg）を、トラックよりフォークリフト（運転者当社従業員）で荷受けし、搬入するため床面へ荷下ろし作	78	1~

	13	業で、スクラップが誤りずり落ちてきて、傍で作業を手伝っていた本人の右足下肢が、スクラップとトラックの間に挟まれて負傷したものである。		9
11	15~ 16	会社敷地内で物流出荷作業中に商品を出荷する為に、荷物の準備作業中に箱を積み重ね中に5段目の荷物を上げる時に、積み上げが不十分だった為に荷物が落下して顔面に当たり右目を負傷した。	28	30 ~ 49
12	12~13	工場冷蔵庫内で、コンテナの中身を確認する際、いつもは上段のコンテナを降ろし作業しているが、今回は玉ねぎの入った5段積コンテナの5段目を左手で持ち上げ、5・4段の間から右手で玉ねぎの大きさを探っていたところ、左手が滑り、コンテナが落下し、右手首が挟まり受傷した。	69	30 ~ 49
12	17~18	当社ヤード（古物の集積場）にて、トラックの荷台（平ボディの鉄板の上）で、鉄くず等金属古物を降ろす作業中に、古物が誤って落下し、右母趾を基節骨折した。	53	10 ~ 29
12	14~15	会社第一工場前で大型車の上の小型移動式クレーンで荷降し作業中、グラップルで鉄屑を掴むときはねて飛んで来た為、避けようとしたところ手にあたり左橈骨にひびが入った。	40	10 ~ 29
12	11~12	会社工場内においてトラックに荷物を積み込む時、400kgの丸棒の束をワイヤーで吊り上げ木パレットの上に載せた。荷物のバランスが悪く感じ、クレーンを操作し荷物を少しずらそうとして持ち上げた瞬間、クレーン操作を誤りクレーンが行き過ぎてしまい、ワイヤーが抜け、荷物が木パレットの上ののせていた左手を直撃し、負傷した。	59	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html